

サハリンに可

被災者の治療支援強化

サハリン地震の被災者に
榎津の救援医療チーム第
二陣八人が二日午後二時四
十分、岡山空港からアエ
ロフロートのチャーター機
で出発。同日夕、救援物資
約十トとともにロシア・サ
ハリン州南部のユジノサハ
リンスクに到着した。(31)



チャーター機に次々と積み込まれる救援物資 岡山空港

面に関連記事)

一行は、五月末に現地入
りしている第一陣三人と早
急合流し今後の活動方針な
どを協議。三日からは、ユ
ジノサハリンスクのサハリ
ン州中央病院や被災地に

近いオハなどで、負傷者
の人工透析を中心に治療
支援を強化、可能ならば
被災地のネフチェゴルスク
に入り直接治療に当たる考
え。

今回、派遣されたのは若
永資隆医師、京都府宇
治市にリタターとした医
師五人、薬剤師一人、調整
員二人で、海外や阪神大震
災での救援活動経験者が大
半。持参した救援物資はA
M D Aに全国から寄せられ
た抗生物質、透析用薬品な

「ユジノサハリンス
ク2日、藤原健史本社
記者）岡山空港を離陸し
たアジア医師連絡協議会
（AMDA）の救援医療チ
ームの第二陣は、現地時間午
後八時（日本時間同五時）、
サハリン州南部のユジノサ

早速、救援物資仕分け

どの医薬品や食料、毛布。
また、厚生省の働き掛けで
WHO（世界保健機関）か
ら五万円（約四百万円）分
の医薬品や医療器具が現地
でAMDAに届けられるこ
とになっており、持参した
物資とともに被災者治療に
役立てる。

AMDAの第一陣三人は
既に医療支援を行うことも
に、ネフチェゴルスクの状
況を調査。現地では外傷の
ほか、人工透析が必要な腎
（じん）不全患者も多く、

ハリンスクに到着した。
一行は五月三十日から現
地に入っている鎌田裕十朗
医師を中心に第一陣のメンバ
ーと空港で合流。早速運び
込んだ約十トの救援物資の
仕分け作業などを行った。
同チームは三日午前、被災
地から人が運ばれて
いる北部のオハと、最も被
害が激しかったネフチェゴ
ルスクまで約一トの医薬品
を州政府チャーター便など
で輸送する。医師ら五人も
同行し、現地の医療事情な
どの調査をする予定。